

I 第42週の発生動向 (2016/10/17~2016/10/23)

1. 警報・注意報は、発令されていません。
2. マイコプラズマ肺炎は、むつ保健所管内で、患者報告数の増加傾向が続いており、過去10年間で最も報告数が多かった2012年第50週と同じ17人になりました。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、定点あたり患者報告数が東地方保健所+青森市保健所管内で2.38に、八戸保健所管内で2.90に増加し、県全体では、前週の0.76から1.62に増加しました。
4. 流行性耳下腺炎は、県全体では患者報告数が減少しましたが、五所川原保健所管内の定点あたり患者報告数が1.00に増加しました。全国では、依然として患者報告数が、かなり多い状態が続いていますので注意が必要です。
5. 流行性角結膜炎は、東地方保健所+青森市保健所管内で定点あたり患者報告数が3.00に増加しました。

II 第42週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科															0	
小児科	インフルエンザ															0
	RSウイルス感染症	8	1.00	10	1.11	2	0.20	12	2.40	4	0.67	7	1.75	43	1.02	-18
	咽頭結膜熱	3	0.38	1	0.11	2	0.20						6	0.14	4	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	2.38	11	1.22	29	2.90	1	0.20	1	0.17	7	1.75	68	1.62	36
	感染性胃腸炎	27	3.38	20	2.22	29	2.90	7	1.40			2	0.50	85	2.02	7
	水痘	1	0.13			1	0.10							2	0.05	-2
	手足口病	2	0.25	7	0.78	1	0.10			2	0.33			12	0.29	-1
	伝染性紅斑	3	0.38											3	0.07	1
	突発性発しん	2	0.25	4	0.44	8	0.80	1	0.20			1	0.25	16	0.38	1
	百日咳									1	0.17			1	0.02	1
ヘルパンギーナ	8	1.00	7	0.78	2	0.20	2	0.40	6	1.00	7	1.75	32	0.76	4	
流行性耳下腺炎	4	0.50	1	0.11	1	0.10	5	1.00	2	0.33	3	0.75	16	0.38	-1	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	6	3.00			4	2.00							10	0.91	6
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎					1	1.00					17	17.00	18	3.00	6
	無菌性髄膜炎															0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

破傷風 (五類全数把握疾患)

破傷風は、破傷風菌により発生し、かかった場合の致死率が高い病気です。近年は30歳以上の成人を中心に患者が発生しています。

傷口に菌が入り込んで感染し、菌が産生する毒素がさまざまな神経に作用します。感染して3~21日の潜伏期間後に、口が開き難い、顎が疲れるといった症状に始まり、歩行や排尿・排便の障害などを経て、最後には全身の筋肉が固くなって体を弓のようになり返らせたり、息ができなくなったりし、亡くなることもあります。

全国では、2011年から2015年の間に年平均122人(最小118人から最大128人)の患者が報告されました。青森県内では、2011年に7人、2012年以降は、毎年1人の患者が報告されました(表)。2016年は、第42週に患者が1人報告されました。

破傷風の予防にはワクチン接種が有効です。破傷風菌は、世界中の土壌の中に存在します。傷口から破傷風菌が体の中に入りますので、農作業や植物のせん定時などに傷口に土が触れないように注意することが大切です。

○詳しくはこちらをご覧ください→[国立感染症研究所\(破傷風とは\)](#) [厚生労働省\(破傷風\)](#)

表 青森県内の破傷風患者報告数
(2011年~2015年)

年	患者数	年代
2011年	7人	20歳~70歳代
2012年	1人	70歳代
2013年	1人	60歳代
2014年	1人	70歳代
2015年	1人	90歳代

Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：東地方+青森市2人、八戸1人、五所川原1人、上十三1人 (2016年計:240人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：弘前1人、八戸2人 (2016年計:94人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症(五類全数把握疾患)：弘前1人 (2016年計:8人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・下気道炎患者(鼻汁、9/28)・・・RSウイルスA：むつ1人
- ・無菌性髄膜炎患者(咽頭ぬぐい液、直腸ぬぐい液、髄液、9/28～10/1)・・・
エコーウイルス6型：八戸1人、五所川原1人、ヒトライノウイルスC：八戸1人
- ・熱性けいれん患者(咽頭ぬぐい液、9/30)・・・コクサッキーウイルスA2型：八戸1人
- ・その他の患者(咽頭ぬぐい液、10/4)・・・エコーウイルス6型及びHHV7：八戸1人

Ⅴ 保健所管内別全数把握疾患発生状況(2016年第39週～2016年第42週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
39	H28.9.26 ~ H28.10.2		梅毒1人	梅毒1人			
40	H28.10.3 ~ H28.10.9	細菌性赤痢1人		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 破傷風1人			腸管出血性大腸菌感染症1人
41	H28.10.10 ~ H28.10.16		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 梅毒1人	
42	H28.10.17 ~ H28.10.23		腸管出血性大腸菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症2人			

Ⅵ 結核(二類全数把握疾患) (2016年第39週～2016年第42週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
39	H28.9.26 ~ H28.10.2	4	2	1		2	
40	H28.10.3 ~ H28.10.9		2	3			
41	H28.10.10 ~ H28.10.16	1	2	1		1	
42	H28.10.17 ~ H28.10.23	2		1	1	1	

Ⅶ 全数把握疾患発生状況(全国-青森県) (注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第41週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病
累積報告数	18908	8	102	3064	48	14	312	233	17	5

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
累積報告数	7	3	9	50	1	12	99	293	209	8

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	2	4	43	7	1256	63	909	221	1181	628

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	12	141	406	1148	55	244	37	2001	241	3489

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	103	101	44	110	152	31

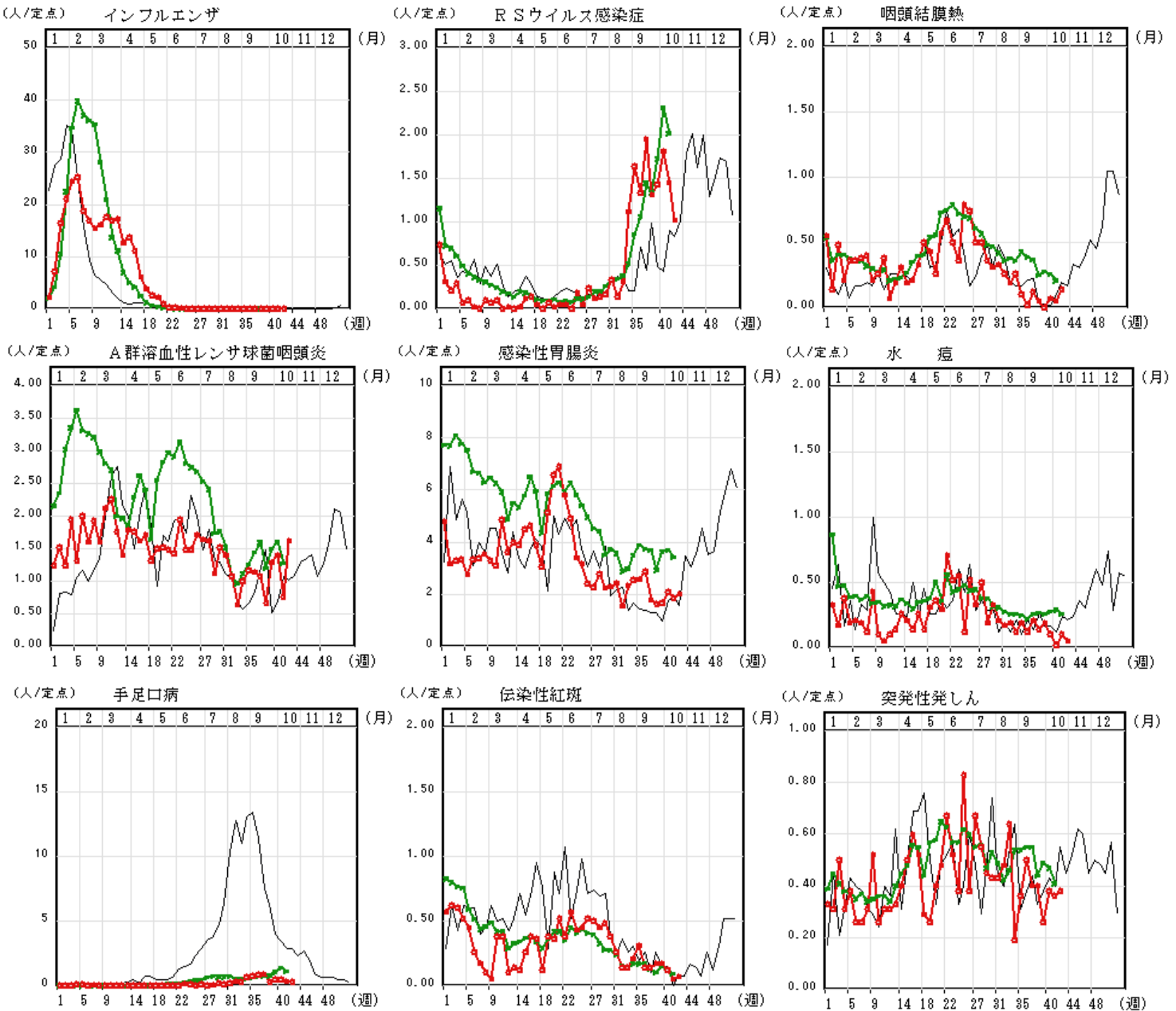
青森県 (2016年第1週～第42週累計)

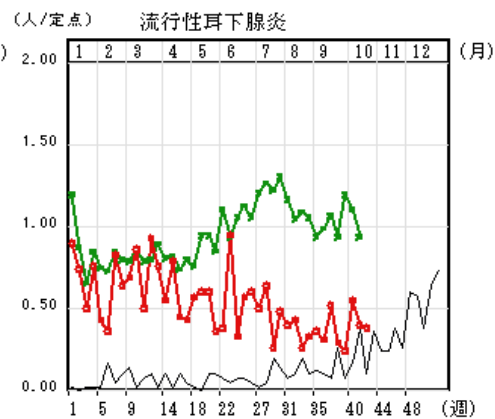
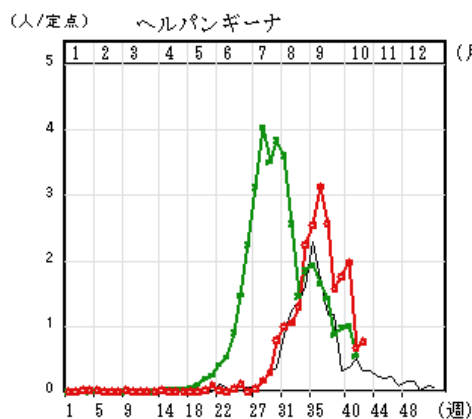
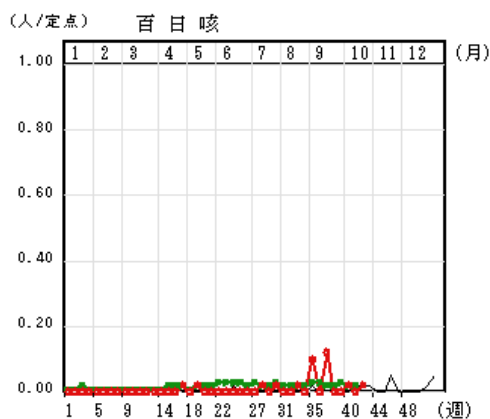
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症
累積報告数	240	1	94	5	3	1	5	5	3	12

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風
累積報告数	1	3	3	2	8	3	17	1

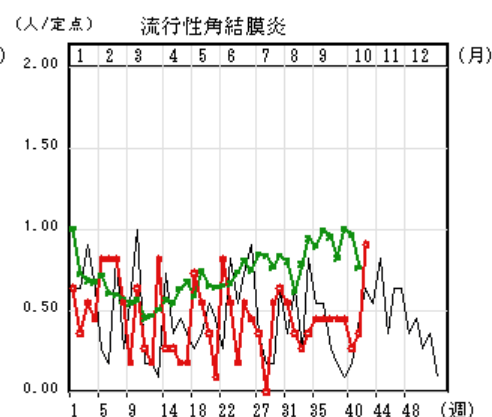
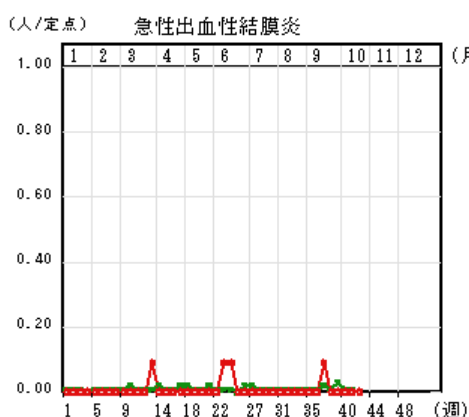
VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第42週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国





IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第42週、ただし全国は前週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第42週、ただし全国は前週)

